

伊勢・三河湾貧酸素情報（H30-20号）

平成30年11月6日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年11月1、5日に伊勢湾、11月1、2日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

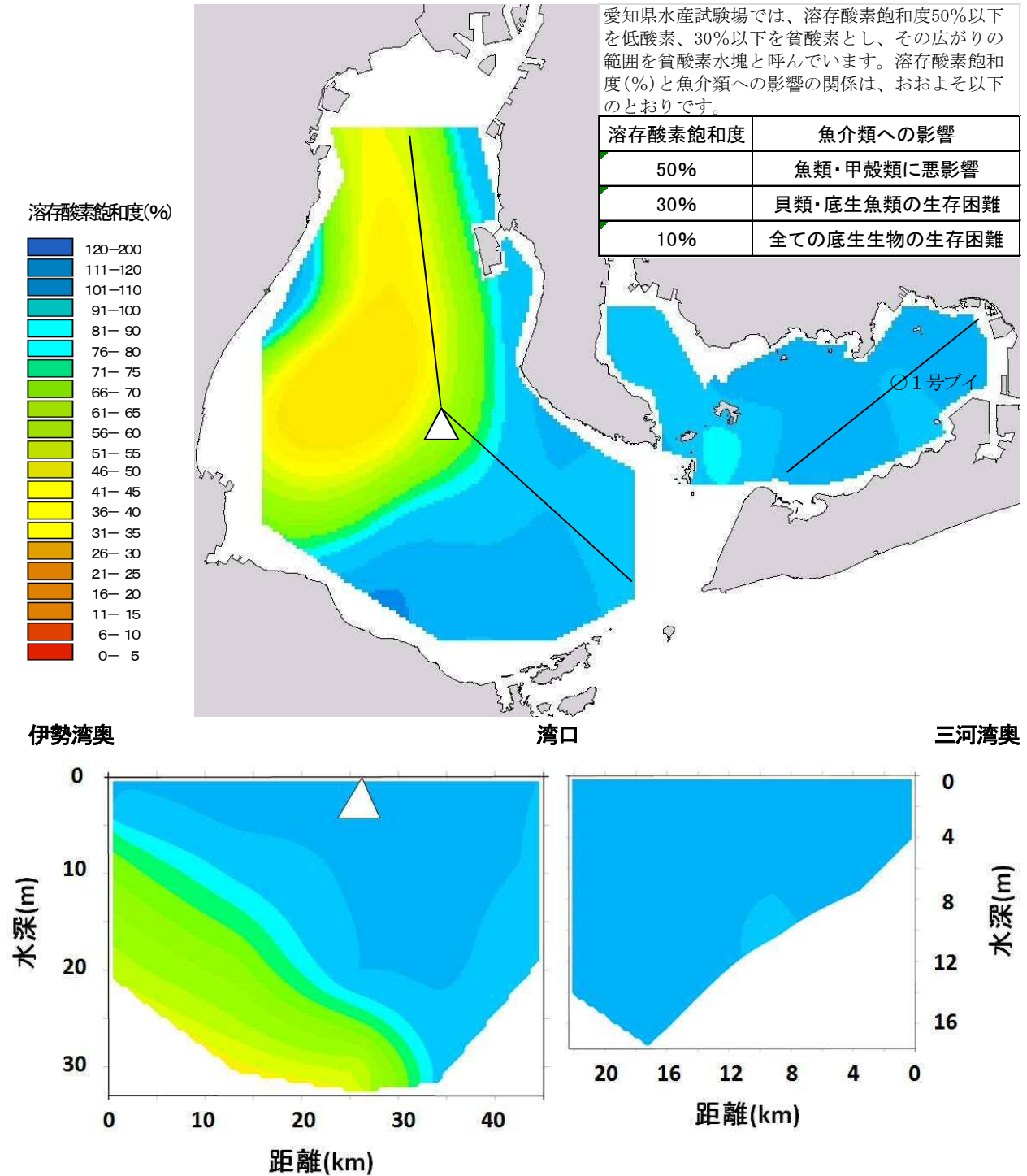


図1 伊勢湾（11月1、5日）・三河湾（11月1、2日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査）

伊勢湾

11月1、5日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月17、18日）と同様に、貧酸素水塊は確認されませんでした。

今後は表底層間の水温較差が小さくなり、海水の上下混合が起きやすい状態であることから、貧酸素水塊が発生する可能性は低いものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	19.6~22.2	26.9~32.2
底層	20.4~23.8	30.8~33.8

三河湾

11月1、2日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月15、16日）で確認された貧酸素水塊は解消していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、底層の溶存酸素飽和度が高い値で経過している様子が観測されました（図2）。

表底層間の水温較差がなくなり、海水の上下混合が起きていることから、今後貧酸素水塊は形成されないものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	18.0~20.5	29.5~31.7
底層	18.0~21.6	26.9~32.9

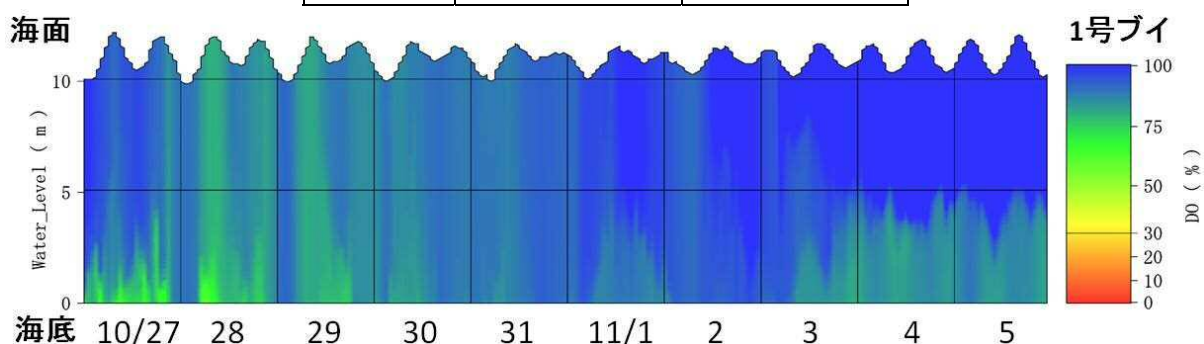


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

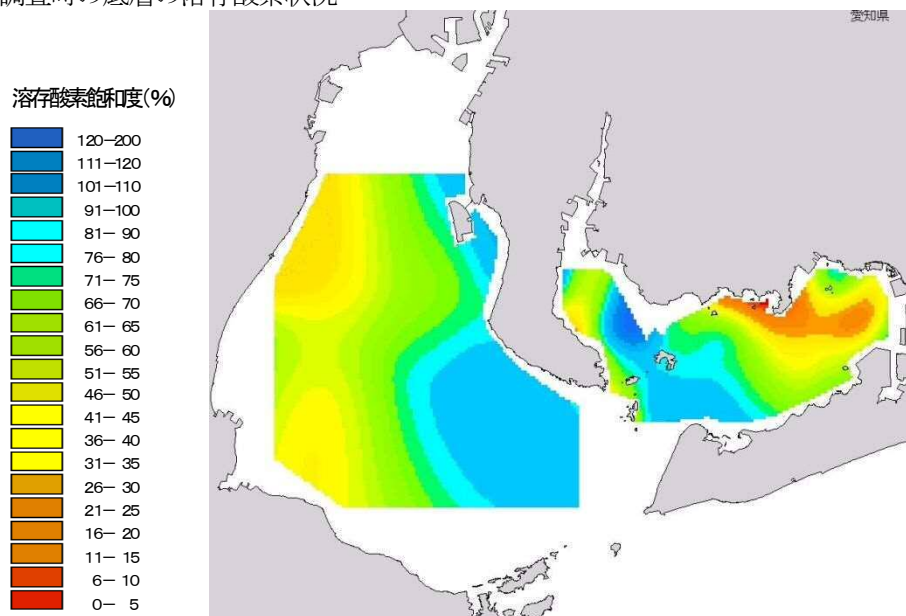


図3 平成30年10月17、18日（伊勢湾）、10月15、16日（三河湾）

*今回で今年度の貧酸素情報の提供を終了します。